

現場名称	直江町の家 梅田様邸新築工事	監理項目「擁壁コンクリート打設」
作成者	川本	



[フレッシュコンクリート試験]

本日は晴天の中、擁壁のコンクリート打設です。  
 まずは打設に先立って「フレッシュコンクリート試験」を行います。事前に構造設計している基礎の仕様となるよう「コンクリート内の空気量」「スランプ値(コンクリートの硬さ)」「コンクリート内の塩化物含有量」を試験します。

スランプ値はスランプコーンと呼ばれるこの円錐型の筒にコンクリートを詰めコーンを引き抜いた際のコンクリート天端の下がりの数値を測ります。



[フレッシュコンクリート試験]

空気量は5.0%  
 →構造設計上4.5%としていますので±1.5%以内なので合格

スランプ値は17.0cm  
 →構造設計上18.0cmとしていますので±2.5cm以内なので合格

塩化物含有量は0.033kg/m<sup>3</sup>  
 →構造設計上0.3kg/m<sup>3</sup>以下としていますので合格



[工事近景]

フレッシュコンクリート試験を終えましたので続いて型枠内の散水を行います。コンクリートの打ち継ぎに必要な水分を与えるのと乾燥した型枠がコンクリートの水分を必要以上に吸ってしまわないようにするため大切な工程です。

散水を終わるといよいよ打設が始まり、コンクリートを流し込む方、上からバイブレーターで隅々までコンクリートを送り込む方、型枠の外側内側から木づちで叩いてコンクリート内空気を抜くこの4人体制で工事を進めます。



[工事近景]

無事に型枠の上部までコンクリートを流し終え、仕上げに天端の排水溝を事前に組んでおいた目地棒を当てはめてつくっていきます。

これで擁壁のコンクリート打設が完了しましたので1週間程度コンクリートを硬化させて型枠を脱型します。